

2010年度 松江生協病院NST研修プログラム

1. 目的

当院は、日本静脈経腸栄養学会より栄養サポートチーム専門療法士取得のための実地修練施設として認定を受けており、臨床実習により栄養サポートチーム専門療法士としての知識を身につけ、チーム医療を通してより患者様に適切な栄養管理ができる技能を習得することを目的とする。

2. 対象者

栄養サポートチーム専門療法士取得をめざし、今年度受験予定の管理栄養士・薬剤師・看護師・臨床検査技師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士および歯科衛生士

(*注: 当該国家資格により5年以上、医療・福祉施設に勤務していなければ受験資格を得られない)

3. 実習期間

2010年6月～2010年8月

4. 申し込み先

申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて5月20日(木)までにお申し込み下さい。
NST研修担当 栄養課 安達(FAX:0852-22-3158)まで

5. カリキュラム

日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則に基づき

①病棟回診・カンファレンス

②講義・実習

③栄養評価等の実践演習

④その他

に分類し、各項目からプログラムに示す単位数を取得する。

6. 募集人員

2名(定員になり次第締め切ります)

7. 研修費

10,000円

プログラム(院外スタッフ受け入れ用)

【教育担当者】

【必須単位】

①回診・カンファレンス		橘		
・NST回診 毎週木曜日9時30分～			1回につき1単位	8単位
・褥瘡回診 毎週月曜日13時30分～			1回につき1単位	2単位
②学習会				
・嚥下学習会 毎月第1水曜日17時45分～ *11月のみ第2水曜日	仙田		1回につき1単位 (6月～2月まで9回開催)	3単位
・NST委員会 毎月第2月曜日15時～ 学習会・症例検討	橘		1回につき1単位	3単位
③栄養評価の実践演習		仙田		
・スクリーニング SGA・ODA	(橘) (NS)		1回につき0.5単位	1.5単位
・嚥下評価 VF検査	(仙田)		1回につき0.5単位	1.5単位
・嚥下訓練・口腔ケア	(ST)		1回につき0.5単位	1.5単位
・栄養療法 必要エネルギー量・水分量	(橘)		1回につき0.5単位	1単位
輸液(TPN・PPN)	(樋野)		1回につき0.5単位	1単位
経腸栄養剤(栄養剤の種類・投与の手技等)	(安達・NS)		1回につき0.5単位	1単位
薬剤(簡易懸濁法等)	(樋野)		1回につき0.5単位	1単位
検査(臨床検査値の見方等)	(検査技師)		1回につき0.5単位	0.5単位
④レポート		橘・仙田		
症例報告			1症例につき3単位	3単位
* 認定試験受験のために症例報告が必要です。規定の書式で症例報告書を作成し、プレゼンテーションを行っていただきます。				

* 研修期間は、1クール3ヶ月です。

必須単位は合計28単位ですので、残り12単位を取得できるように
上記研修項目の中から参加できる研修を選んで下さい。

②については月に1度しかありませんので、研修期間終了後に3ヶ月の
延長を認めます。

§ 研修日は、毎月第2月曜日PM・第1水曜日PM・第1&2&3木曜日AMです。

【研修日程】2010. 6.	2(水)	VF・嚥下学習会	8.	5(木)	NST回診
	3(木)	NST回診		8(月)	褥瘡回診・NST委員会
	10(木)	NST回診		11(水)	VF・嚥下学習会
	13(月)	褥瘡回診・NST委員会		12(木)	NST回診
	17(木)	NST回診		19(木)	NST回診
7.	1(木)	NST回診			
	7(水)	VF・嚥下学習会			
	8(木)	NST回診			
	11(月)	褥瘡回診・NST委員会			
	15(木)	NST回診			

* 月曜日は、13時30分～17時まで
水曜日は、15時～18時45分まで
木曜日は、9時～12時半まで

平成 年 月 日

松江生協病院長殿

NST 専門療法士臨地研修プログラム申込書

フリガナ 氏 名		Ⓜ (男・女)
生 年 月 日		昭 ・ 平 年 月 日生 (歳)
住 所		〒 — TEL :
メールアドレス		
取得免許	職 種	
	番 号	第 号
	免許取得年月日	昭 ・ 平 年 月 日
所属施設	施 設 名	
	所 属 部 門	
	所 在 地	〒 — TEL :
平成 22 年度受験資格		有 ・ 無 日本静脈経腸栄養学会 参加 (済 ・ 未) 学会主催教育セミナー 参加 (済 ・ 未 ・ 参加申込済)

申込書送付先 松江生協病院栄養課

Fax:0852-22-3158

*この申込書は、研修初日に提出願います。